

平成 30 年度 第 2 回県立長野図書館協議会 資料

- 1 県立長野図書館協議会について
- 2 図書館改革について
 - 図書館改革事業(平賀プラン)
 - 図書館改革について
- 3 平成 31 年度県立長野図書館事業費(予算)について
 - 平成 31 年度県立長野図書館事業費
 - 県立長野図書館 6 F 書庫増設工事
 - 図書購入費(予算額)の推移
 - 県立長野図書館施設・設備等の改修・修繕工事計画
- 4 県立長野図書館「信州・学び創造ラボ」について
- 5 県立図書館業務用システム更新及び「信州・知の入口」ポータル構築について
- 6 当館館長及び司書のレポート等
 - 『日本の図書館の歩み(1993-2017)(仮称) 地方編』(日本図書館協会)
 - 「図書館王にオレはなるっ!!」—県立長野図書館の児童向けリテラシープログラム—
(図書館雑誌 2019.2)
 - とびきり心地よく、刺激的なサードプレイスを創ろう
県立長野図書館「信州・学び創造ラボ」検討ワークショップについて
(みんなの図書館 2019.1)
 - 平成 29 年度松本市学校司書研修「学校図書館を創るために—その機能の再確認と授業に連動した選書を学ぶ」を開催して
(図書館雑誌 2017.12)
 - 共知・共創の場としての図書館
県立長野図書館における知識情報ラボ「UCDL(ウチデル)」について
(情報の科学と技術 2018.6)
 - これからの図書館のイメージ・ビジョン
Library 3.0
明日をつくる多様な知のコモンズ(共有地)としての図書館を構想する(私論)
(社会教育 2016.11)

県立長野図書館協議会について

1 概要

- (1) 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる。

*図書館法

- …公立図書館に図書館協議会を置くことができる。(第14条第1項)
- …図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。(第14条第2項)
- …図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。(第16条前段)

*県立長野図書館条例

- …図書館に図書館協議会を置く。(第3条第1項)

*県立長野図書館協議会運営規則

- …定例会は春秋2回とし、臨時会は必要に応じて召集する。(第4条第2項)

- (2) 委員は学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

委員の定数は10名以内とし、その任期は2年とする。

*図書館法

- …図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。(第15条)
- …図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。(第16条)

*図書館法施行規則

- …法第16条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。(第12条)

*県立長野図書館条例

- …協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから長野県教育委員会が任命する。(第3条第2項)
- …協議会の委員の定数は10名以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。(第3条第3項)

2 委員

- (1) 任期 2019年1月1日から2020年12月31日まで

- (2) 人員 8名(別紙名簿)

3 協議会の過去の開催状況

年度	開催日(出席者数)	主な審議事項
27	平成27年7月29日(出席6名)	・H27年度県立長野図書館事業について
	平成28年3月1日(出席6名)	・H27年度県立長野図書館事業実施状況について
28	平成28年7月20日(出席6名)	・平成28年度県立長野図書館事業について ・図書館改革について ・協議会委員の改選について
	平成29年2月23日(出席7名)	・県立長野図書館改革について ・平成28年度県立長野図書館の利用及び事業実施状況 ・平成29年度県立長野図書館事業予定
29	平成29年7月11日(出席7名)	・平成29年度県立長野図書館事業について
	平成30年2月28日(出席7名)	・平成29年度の事業実施状況 ・平成30年度事業予定
30	平成30年6月27日(出席6名)	・県立長野図書館事業について ・協議会委員の改選について

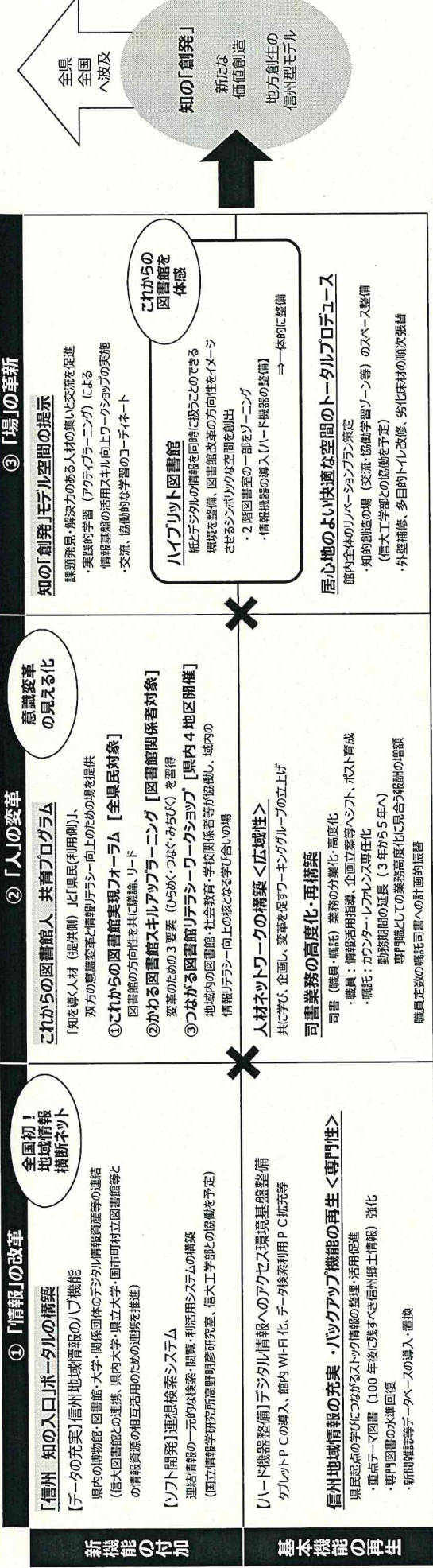
図書館改革事業（平賀プラン）

目指す姿

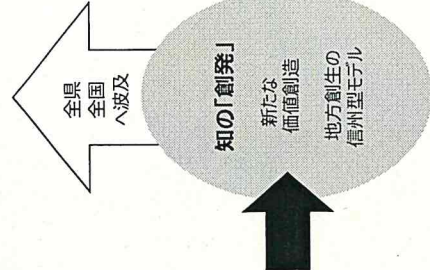
地域課題を発見・解決し新たな価値を生み出し、「情報リテラシー」（情報を探索、選択、理解、編集し活用する能力）が不可欠。
 県立長野図書館は、県内の公共・学校図書館と共に「資料の収集・収集資料の提供から」情報・知識基盤社会の知的拠点へ変革し、多様な県民の知的創造の基盤たる役割を目指す。

改革のための取り組み

これからの図書館像実現のための、3つのチャレンジ



- 【改革の視点】
- ① 「図書館の蓄積・貸出・レファレンス」から県民の「学び」情報活用「課題解決（糸口提供）」支援への転換
 - ② 公立図書館等への支援強化・ネットワーク構築（人材育成・運営アドバイス）
 - ③ 図書館基本機能の充実（全国最低水準の蔵書、郷土資料、専門資料等の図書購入費の増額）
 - ④ 業務の分業化・高度化による組織の体質強化（業務見直しにより改革財源を自ら捻出）



知の「創発」モデル空間の提示

- H29 ハイブリッド図書館（2F）
 ネーミング・ライツ制度（振興策真型）の活用により、県内洋行・コラボレーション
 「人が集まり、話し合い、創り、共有する」をコンセプトに、デジタルとアナログの様々な情報を探索・選択・理解・編集するためのICT機器等を備え、アクティブな学び合いの場を創出
 < 協定期間 H29.10.1~H32.9.30 >

知識情報ラボ UCDDL
 UChidapresents

- H30 共知・共創の場 モデル空間（3F）イメージ
 ICT × co-Learning
 「信州・学び創造ラボ」
 ・信州に関する様々な情報の拠点機能
 ・ICTを活用した情報活用能力の向上支援
 ・新しい社会的価値を創造して「学びたいおこす」公共空間モデルの提示
 → 地域における学びの場（図書館・公民館、大学等）をつなぐプロジェクトであり、市町村と連携して「co-Learning」を全県展開

イメージ提供：内田洋行（パブリック）

これからの図書館人、共有プログラム

- H29 主なプログラム
 H29.8.19 他 計3回
 Wikipedia LIB@信州 #01【県立編】 #02【小編編】
 「生涯にわたる学びを支える図書館のあり方」
 県下および600名の図書館関係者に向けて、これからの図書館に期待する役割を啓発
- H30 予定プログラム
 地域をリードする中核図書館を主体としたフォーラム等の展開
 ① これからの図書館実現フォーラム2018（H30.11 開催予定）
 ② 地方自治と図書館の役割「探究型学習と情報リテラシー」公共図書館とのタイアップ研修 2テーマ
 ③ 地域版「図書館フォーラム」 県内4地区の拠点図書館別ワークショップ
 デジタルアーカイブ・課題解決型図書館・情報リテラシー教育・学び連携など

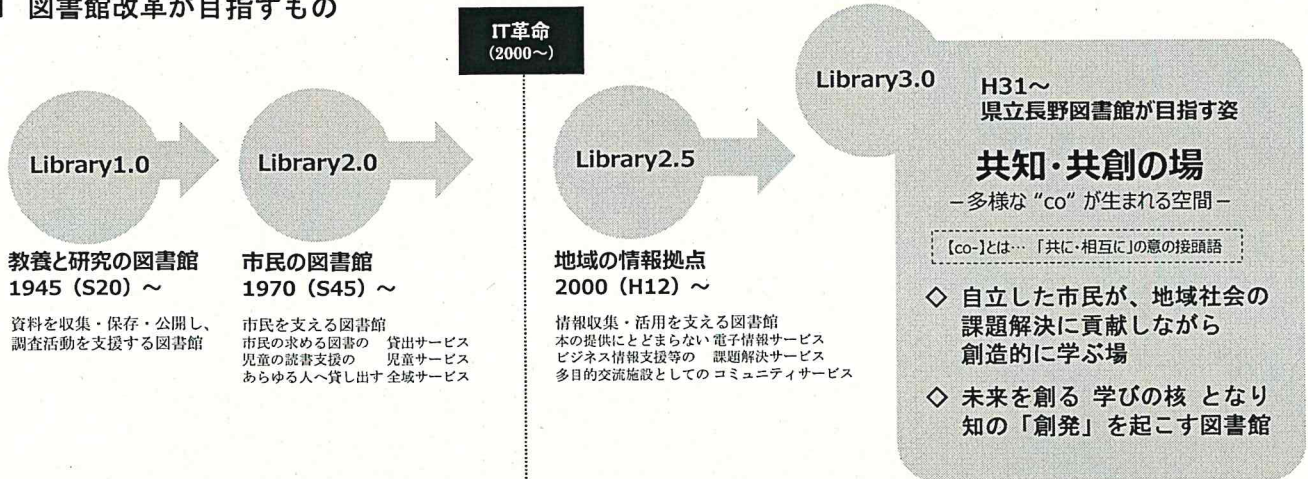
信州地域情報のあり方検討

- H29 までの検討状況
 「信州・知の連携フォーラム」開催
 長野県の知と学びに関する4編関（信大附属図書館、県立歴史館、長野県立歴史館、県立長野図書館）の館長が結集、地域版に新たな追加価値をもたすMLA連携を実現するため、今後の協力について検討を開始。
 第1回 H28.12.13 戦略的MLA連携による地域創生
 第2回 H29.2(予定) 新・信濃美術館のアートライブラリーから見るアーカイブの今後(仮)
- H30以降の予定
 ・「信州・知の連携フォーラム」継続開催
 ・「信州・知の入口」ポータル H30 技術仕様書の作成
 H31 ポータル構築（H32.3~運用予定）

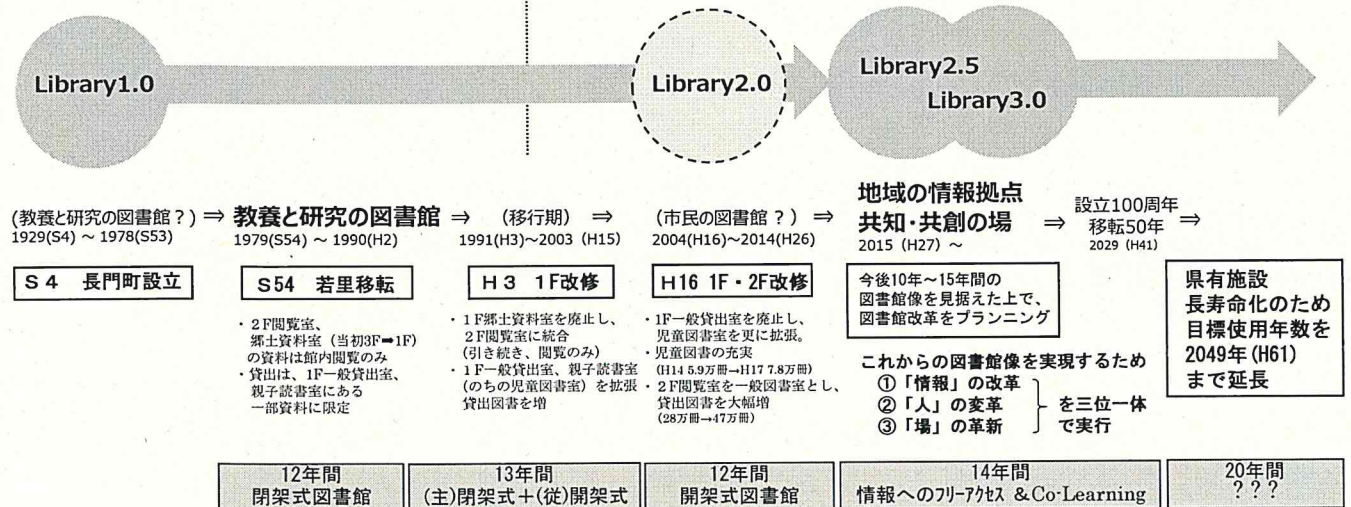
図書館改革について

文化財・生涯学習課（県立長野図書館）

1 図書館改革が目指すもの



2 県立長野図書館のこれまでと現状



- 他の図書館が IT革命・情報化社会に対応し「Library2.5 情報の拠点」を目指す中、平賀館長就任前の県立図書館は「Library2.0 市民の図書館」のステージを目指そうという状態で停滞しており、社会の変化に合わせた役割の転換が図られてこなかった。
- H27~H31（平賀プラン）の5年間は、移転50周年となるH41までの約15年間を見据えた図書館像である「Library2.5 地域の情報拠点」「Library3.0 共知・共創の場」の実現に向けた基礎作りの期間と位置付けている。

3 県立図書館の課題

- ① 図書館の役割変化に応じた設備投資が行われていない
 - ・ IT革命やデジタル情報への未対応
 - ・ 蔵書スペース（書庫）の不足
 - ・ 施設内の未利用空間の増加
- ② 県立図書館の基本機能である資料収集の停滞、「郷土資料」分野の弱体化
 - ・ 図書資料費の大幅な削減
 - ・ 郷土資料保管書庫不足と資料費削減による、地域資料収集の停滞
- ③ 司書業務が貸出・蔵書管理センターであり、これからの図書館に求められる役割を果たせない
 - ・ 情報の利活用能力（情報リテラシー）向上支援や地域の学びを支援する図書館職員が育っていない

4 図書館改革の成果（平賀館長の実績）と今後の方向性

●は実績 ○はH31を目途に実施を検討

これまでの主な取り組み

● 企業・団体・県民との協働・連携

- 1 信州大学附属図書館との連携
県内図書館横断検索で大学の蔵書 123 万冊が検索可能に
- 2 (株)カーリル (IT 企業) の超高速検索エンジン試験導入
全国で 2 番目の導入
- 3 図書館における公共空間を考える県民参加ワークショップ
信州大学工学部学生と県民が図書館空間の在り方を検討
建築家や図書館有識者がボランティアで議論に参加
- 4 「信州学」の取り組みへの支援
松本県が丘高校の信州学の取り組みをコーディネート
「信州学 for teachers in 高遠」の開催

● 企画力・情報発信力の大幅な向上

- 1 県立ならではの蔵書を活かした大胆な企画展示
発禁 1925-1944; 戦時体制下の図書館と知る自由
「GIFT; 子どもの世界が変わった時」
一進駐軍とともにやってきた児童書と戦前・戦中・戦後—
- 2 都道府県立図書館サミット 2016 開催
県立長野図書館と ARG(株)(図書館コンサル)の呼びかけで、
全国の県立図書館関係者がディスカッション
サミットの成果は ARG の情報誌にまとめられ、全国の図書館へ
全国初開催
- 3 市町村立図書館支援・連携強化
FB ページ「山に見える図書館—信州のまち・人・図書館」開設
これからの図書館フォーラムの市町村立図書館との共催

「情報」の改革

● デジタルデータベース(DB)の導入

- H27 1DB 信毎
H28 5DB 朝日・日経・第一法規・国立印刷所(追加)
H29 13DB 毎日・読売・日外アソシ・ネットアドバンス・
ポプラ社・ジーサーチ・日本統計センター・
農村漁村文化協会(追加)

● 資料費の回復

- H27 26,944 千円 ・全国水準 44,244 千円を目指し
H28 29,733 千円 段階的に増額
H29 34,253 千円 ・地域資料の収集を強化

○ 「信州・知の入口」ポータル (信州デジタルアーカイブ基盤)の構築を検討

図書館管理システム(書誌管理・貸出業務用)の更新を
1年延長し、H31年度からの新システムに「信州・知の入口」
ポータル機能(信州に関する情報を一元的に利活用するための
機能)を追加。

- ・信州地域情報のハブとして、県立図書館・美術館・歴史館、
市町村や大学等も含めた「信州の情報基盤」として検討
- ・連想検索システムや活用アプリについては、国立情報学研
究所高野明彦研究室、信大工学部との協働を予定

「人」の変革

● 働き方改革

H28

- ・カウンター業務の体制を見直し 1日当たり2.24人分
(104h/週)の業務改善を達成
- ・カウンター業務を原則嘱託司書で対応。正規職員のカウンター
業務を減らすことにより、正規職員2名減(H27比)ながらも、
図書館改革に必要な人員1人分(48h/週)を確保

H29

- ・嘱託司書に「運用リーダー」制を導入
正規司書の指示のもと、実施担当者(嘱託)の指導や、
日週単位での業務進捗管理をおこなう運用リーダーを新設。
(2人/14人中、報酬8,025円→9,500円/日へ増額)

● 「信州発・これからの図書館フォーラム」の実施

県民・図書館関係者・地域関係者などが、これからの公共図
書館のあり方を共に考え、実現するための意識啓発・人材育
成を実施。

- ・信州 知の連携フォーラム (MLA 連携)
- ・アーバンデータチャレンジ 2016 長野
伊那谷をもっと楽しく知るアイデアソン
- ・wikipedia LIB @信州 など

「場」の革新

IT 革命を契機として、県立図書館の役割が大きく変化中、
これからの時代に必要とされる「地域の情報拠点」「共知・共創の場」としての
公共空間の姿を、館内の利用率の低い空間をリノベーションしてモデル的に整備。

● H28 「ハイブリット図書館/ナレッジ・ラボ」(2F) - 「本の館」から「情報の拠点」へ -

- ・新聞雑誌閲覧スペースを、タブレット利用が可能な研修・ワークショップスペースへ改修
- ・アナログもデジタルも、どちらの情報へもアクセス可能な空間に

● H29 「知識・情報ラボ UC DL (ウチデル)」(2F)

- ・(株)内田洋行とコラボして、ナレッジ・ラボをリデザイン(ネーミング・ライツ制度活用)
- ・ICT 機器を備えたアクティブな学び合いと、情報リテラシー向上支援の場を創出

○ H30 「信州・学び創造ラボ」(3F) - 情報 × co-Learning 信州地域創造の「実験室」 -

- ・多様な情報や人が、物理的な条件を超えてつながり合うオープンで自由な公共空間
- ・アイデアを具現化し、新しい社会的価値を生み出す知の創発を促す核となる場を整備



2F UC DL (ウチデル)



3F 信州・学び創造ラボ 整備イメージ

平成 31 年度県立長野図書館事業費(予算)

【平成 31 年度当初予算案について】

- ・平成 31 年 2 月定例会(平成 31 年 2 月 13 日開会)において審議中
- ・ 3 月 8 日議決予定

平成31年度 県立長野図書館事業費

(単位：千円)

区 分	項 目	平成31年度	平成30年度	増 減	
図書館 管理運営費	人件費(嘱託員)	36,569	35,289	1,280	
	庁舎管理委託	15,043	14,995	48	
	工事請負費	0	4,698	△ 4,698	
	光熱水費等管理費他	16,034	16,176	△ 142	
	計	67,646	71,158	△ 3,512	
図書館コンピ ュータ管理費	コンピュータ借上等	28,604	28,604	0	
図書館事業費 及び 図書館改革費	図書館 資料の 充実	図書資料等	37,712	42,675	△ 4,963
		データベース	3,714	3,688	26
		小 計	41,426	46,363	△ 4,937
	図書郵送料	2,485	1,811	674	
	フォーラム・研修会費	1,790	3,143	△ 1,353	
	業務用機器借上等	6,285	3,385	2,900	
	「信州・学び創造ラボ」関係	16,312	59,691	△ 43,379	
	6階書庫増設工事設計委託	3,672	0	3,672	
	計	71,970	114,393	△ 42,423	
積立金	基金積立金	5	10	△ 5	
合 計		168,225	214,165	△ 45,940	

* 各年度当初予算額をベースに作成

* 基金積立金は本課執行

78.5%

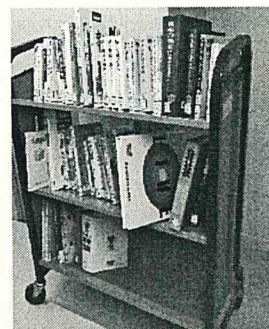
県立長野図書館 6F 書庫増設工事

文化財・生涯学習課

1 現状

書庫棟 6F は昭和 54 年の建設当時、予算不足により内部の床、壁、電気設備などが整備されなかったため、これまで 1F～5F を書庫として使用してきた。しかし、現在 1～5F は各階ともほぼ満杯の状態であるため、書棚の隙間に本を横置きにしたり、ブックトラックに載せたまま別置せざるを得ず、書庫出納やレファレンス対応などに支障をきたしている。

今年度、本館棟 3F の「信州・学び創造ラボ」の整備に伴い、現在書庫にある一部の図書（約 8,000 冊）をラボ内に配架するため、平成 30、31 年度については現状の書庫で収蔵スペースをまかなえる見込みだが、平成 32 年度中には満杯を超え、収蔵スペースが足りなくなる見込みである。



↑ ブックトラックに別置



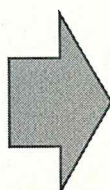
← 書棚の隙間に横置き

2 目的・必要性

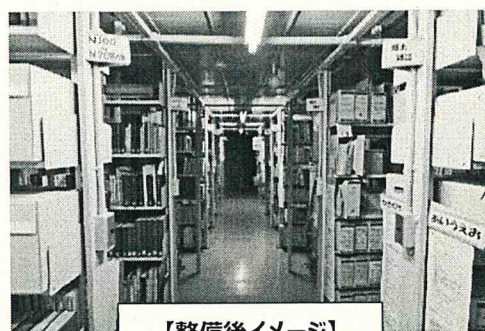
未整備の書庫棟 6F を、書庫として使用できるよう整備を行い、資料の保管場所を確保する。



【整備前】
現在の書庫 6 階



- ・壁面、床張り
- ・書架を設置
- ・電気、空調等の整備



【整備後イメージ】
※写真は現在の書庫 5 階

3 内容

場所	現行用途	改修後の用途	改修内容
6F	未整備のため 未使用	郷土資料書庫 (面積 389 m ²) 【書庫全体面積】 現在(1～5F) 1,945 m ² ⇒ 整備後(1～6F) 2,334 m ² (20%増)	・壁面、床張り ・書架設置 ・適正かつ安心・安全に資料保管できる環境の整備 (電気配線、消火設備の整備・冷房機取付 等)

※建設当初に書庫用のスペースとして建てられている場所であるため、耐震工事等は不要。

4 スケジュール・所要額

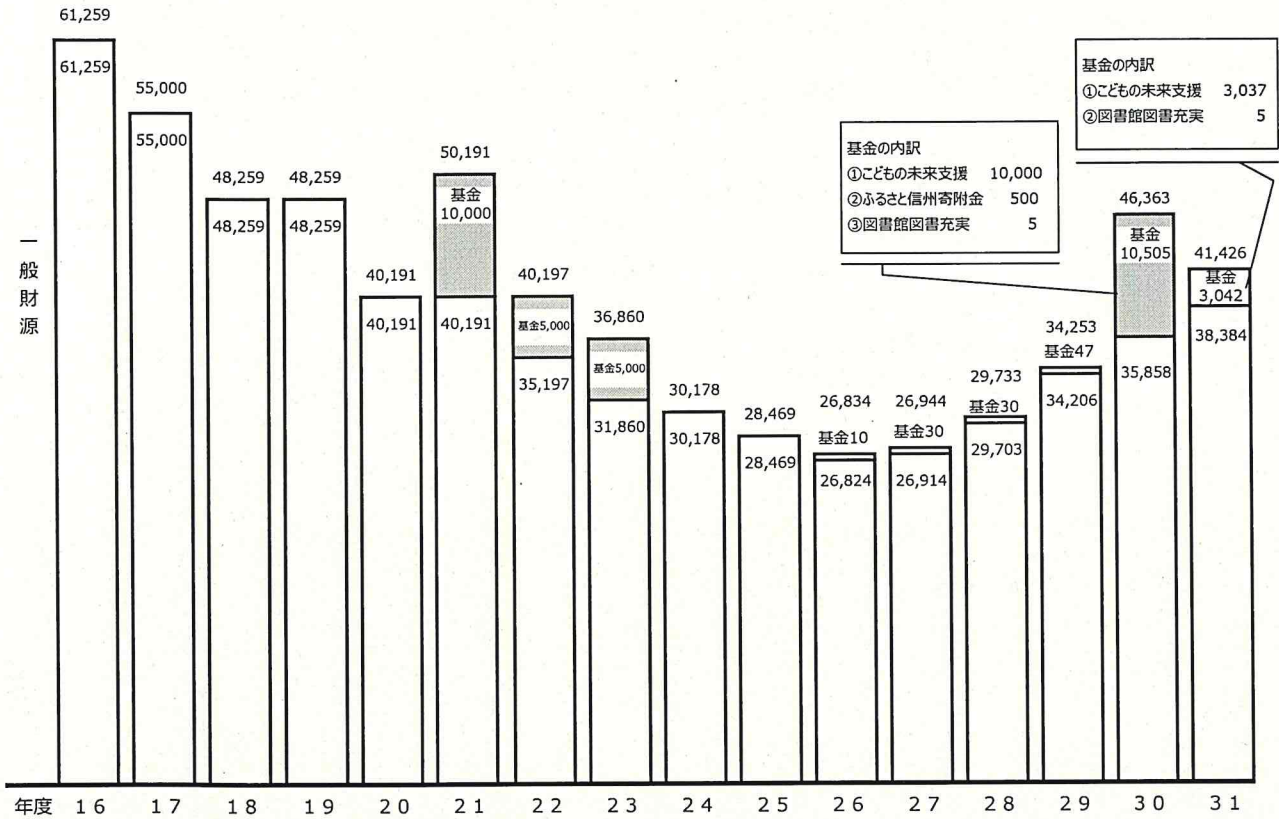
H31	H32			合計
	設計	監理	工事	
3,672	2,754	86,400	計 89,154	92,826

5 要求額 3,672 千円 (一般財源 1,672 千円 県債 2,000 千円) (単位: 千円)

節	経費区分	内容	H31		H30		増減	
			要求額	一財	予算額	一財	一財	
13	臨	増設工事設計委託	3,672	1,672	0	0	3,672	1,672
合計			3,672	1,672	0	0	3,672	1,672

図書購入費(予算額)の推移

[単位：千円]



年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
一般財源	61,259	55,000	48,259	48,259	40,191	40,191	35,197	31,860	30,178	28,469	26,824	26,914	29,703	34,206	35,858	38,384
基金						10,000	5,000	5,000		図書館充実基金	10	30	30	47	10,505	3,042
計	61,259	55,000	48,259	48,259	40,191	50,191	40,197	36,860	30,178	28,469	26,834	26,944	29,733	34,253	46,363	41,426
増減(%)		△6,259 (△10.2)	△6,741 (△12.3)	0 (-)	△8,068 (△16.7)	10,000 (24.9)	△9,994 (△20.0)	△3,337 (△8.3)	△6,682 (△18.1)	△1,709 (△5.7)	△1,635 (△5.8)	110 1.00	2,789 1.10	4,520 1.15	12,110 1.35	△4,937 (△10.6)

【県立長野図書館施設・設備等の改修・修繕工事計画】

施設の長寿命化に対応するとともに、図書館機能を維持し利用者の利便性の向上と快適な空間の提供のため、施設・設備の改修・修繕工事を計画的に行う。

年度	工事内容
平成 31 年度	【13 節：委託料】 ●6 階書庫増設工事設計業務
平成 32 年度 (2020)の予定	【13 節：委託料】 ●6 階書庫増設工事監理業務 ●高架水槽及び受水槽改修工事設計監理業務 【15 節：工事費】 ●6 階書庫増設工事 ●高架水槽及び受水槽改修工事 ●エレベーター 2 号機交換工事 ●電話交換機交換工事
平成 33 年度 (2021)以降 の予定	【15 節：工事費】 ●トイレ全面改修工事(配管含む)※2023 年度以降 ●書庫棟空調設備改修工事 ●屋上改修工事 ●外壁(H29 未実施箇所)改修工事 ●非常警報設備交換工事 ●吸収式冷温水機 1 号機及び 3 号機改修工事 ●東西非常階段改修工事 ●利用者駐車場舗装工事 ●外構工事 等
11 節需用費 12 節役務費等	●樹木の剪定 ●館内内装修繕(壁の塗り替え・床の張り替え等) ●利用者駐車場ライン引き(障がい者用駐車スペース確保) ●ブラインド交換 等
その他	●館内 LED 照明化